



平成 21 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 橋 康 宏
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 1 0)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 C F O 片 山 靖 浩
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 5 3 2

平成 21 年 2 月期通期（連結・個別）業績予想との差異、
 特別損失発生及び役員報酬の減額に関するお知らせ

平成 21 年 2 月期（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）の業績予想について、平成 20 年 10 月 21 日付当社「平成 21 年 2 月期中間決算短信」にて発表いたしました業績予想との差異を下記のとおりお知らせするとともに、特別損失が発生いたしますのでその概要をお知らせいたします。また、業績予想の修正を受けて役員報酬の減額を決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 2 月期 連結業績予想との差異

(1) 通期（平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	4 2, 5 0 0	8 8 0	8 1 0	2 5 0
今回修正 (B)	4 1, 5 9 0	8 9 5	8 4 5	1 4 0
増減額 (B - A)	△ 9 1 0	1 5	3 5	△ 1 1 0
増減率	△ 2. 1 %	1. 7 %	4. 3 %	△ 4 4. 0 %

(2) 修正理由

米国の金融危機が実態経済にも影響を及ぼし、日本国内において個人消費が急速に冷え込んだことなどにより、連結売上高につきましては 4 1, 5 9 0 百万円（前回予想比 9 1 0 百万円減）となる見込みであります。

連結営業利益につきましては、各種コスト管理を徹底したことに加え、物流コストの見直しや古本管理精度の向上を目的に発足した「物流プロジェクト」が順調にその成果を出し始めたこと等により、8 9 5 百万円（前回予想比 1 5 百万円増）となる見込みであります。連結経常利益も同様、8 4 5 百万円（前回予想比 3 5 百万円増）となる見込みであります。

連結当期純利益につきましては、連結経常利益は増加したものの、以下に記載の特別損失の計上により、1 4 0 百万円（前回予想比 1 1 0 百万円減）となる見込みであります。

(3) 特別損失の発生とその内容

第 3 四半期まで既に計上いたしました 2 0 5 百万円に加えて、第 4 四半期に計上を見込んでいる古本市場 2 店舗の減損損失約 3 4 百万円、不採算による A K I B A スペース 6. 0 の撤退に伴う特別損失約 3 9 百万円、当社が保有する「その他投資有価証券」の評価損 2 4 百万円、アイ・カフェ 1 店舗の減損損失約 6 9 百万円等を合わせて、通期で約 3 7 2 百万円の特別損失を計上いたします。

(4) ご参考：前期実績（平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
通期 (3/1～2/29)	4 5, 5 6 8	1, 4 4 8	1, 4 1 3	6 3 4

2. 平成 21 年 2 月期 個別業績予想との差異

(1) 通期 (平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	39,400	970	930	300
今回修正 (B)	38,325	1,010	970	190
増減額 (B-A)	△1,075	40	40	△110
増減率	△2.7%	4.1%	4.3%	△36.7%

(2) 修正理由

売上高につきましては個人消費の冷え込みなどの影響により、38,325百万円 (前回予想比 1,075百万円減) となる見込みであります。営業利益につきましては、各種コスト管理の徹底や「物流プロジェクト」が順調に成果を出し始めていること等により、1,010百万円 (前回予想比 40百万円増) となる見込みであります。経常利益も同様、970百万円 (前回予想比 40百万円増) となる見込みであります。当期純利益につきましては、経常利益は増加したものの、以下に記載の特別損失の計上により、190百万円 (前回予想比 110百万円減) となる見込みであります。

(3) 特別損失の発生とその内容

第3四半期まで既に計上いたしました204百万円に加え、連結子会社アイ・カフェの純資産の減少により計上を見込んでいる株式会社アイ・カフェの関係会社株式評価損約136百万円 (注)、古本市場2店舗の減損損失約34百万円、不採算によるAKIBAスペース6.0の撤退に伴う特別損失約39百万円、当社が保有する「その他投資有価証券」の評価損24百万円を合わせて、通期で約440百万円の特別損失を計上いたします。

(注) 連結子会社の株式評価損は連結業績には影響ありません。

(4) ご参考：前期実績 (平成 19 年 3 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期 (3/1～2/29)	42,338	1,629	1,631	188

3. 役員報酬の減額について

当社は現況を厳粛に受け止め、経営責任を明確にするために、下記のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

(1) 役員報酬額の減額の内容

役付取締役 月額報酬額の 5～10%を減額

(2) 対象期間

平成 21 年 3 月より当面の間

※減額の終了時期につきましては、今後の業績に照らし、判断いたします。

4. 平成 21 年 2 月期配当予想について

配当予想につきましては、既に実施済みである中間配当 1 株当たり 130 円を含め通期で 1 株当たり 260 円と、平成 20 年 4 月 18 日付当社「平成 20 年 2 月期決算短信」にて発表いたしました配当予想と変わりはありません。

※上記の予想は、本資料の発表日 (2009 年 3 月 30 日) 現在において入手可能な情報に基づいて作成されております。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上